

平成29年度事業報告

一般社団法人全国海岸協会

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

平成29年度の事業報告を、次のとおり報告する。

会員数の状況

(平成30年3月31日現在)

区 分	前年度末	29年度中の増△減			本年度末	備 考
		入 会	退 会	合併等		
正 会 員	都道府県	39	0	0	0	39
	市 町 村	315	0	△3	0	312
	団 体	2	0	0	0	2
名誉会員	5	1	0	0	0	6
計	361	1	△3	0	0	359
賛助会員	38	3	△1	0	0	40
合 計	399	4	△4	0	0	399

(注) 都道府県には休会中の大阪府を含む。

I 海岸普及啓発事業

1. 海岸に関する情報の提供

(1) 機関誌「海岸」の発行

海岸事業に関するニュース、協会の動き、イベント、行事予定等を掲載した機関誌「海岸」を平成29年7月に第212号、平成30年1月に第213号を発行し、当協会会員、関係団体及び国の機関等に配布し、当協会の活動状況等を報告した。

(2) 雑誌「海岸」の発行

特集「にぎわいのある海岸」を掲載した雑誌「海岸」第54巻を平成29年6月に作成し、当協会会員、国の機関、教育学研究機関、学識経験者等海岸事業に携わっている関係方面に広く配布し、海岸行政の動向や課題、地方の海岸、トピックス、ニュース等について紹介した。

(3) ホームページによる情報提供の充実

当協会の主な行事や海岸に関する知識の普及、海岸事業の推進等に関する各種の情報を当協会会員並びに一般国民に広く提供するとともに、協会のお知らせが、利用者の意見交換の場として活用されるよう利便性の向上を図り、最新の海岸に関する情報提供の充実を図った。

2. 海岸愛護事業に関する活動

(1) 海岸愛護月間啓発ポスターの提供

国土交通省、地方公共団体が実施する7月の「海岸愛護月間」における啓発用ポスターを当協会会員、関係団体等に広く配布し、海岸愛護思想の普及・啓発に努めた。

(2) 海岸愛護写真コンクールの実施

海岸愛護写真コンクールは、国土交通省の後援を得て、昭和61年度以降毎年実施しており、第32回海岸愛護写真コンクールは平成29年8月から11月まで募集し、全国各地より、210名の応募者から704点の応募があり、二次にわたる審査の結果、国土交通大臣賞1点、国土交通省水管理・国土保全局長賞1点、全国海岸協会会長賞1点、特選3点、入選12点、奨励賞16点を決定し、入賞者に、賞状、賞品をそれぞれ贈呈した。

入賞作品は、海岸愛護入賞作品集（写真集）や海岸愛護写真展示パネル及び海岸愛護月間ポスター等に活用し、広く海岸愛護思想の普及に努めた。

(3) 海岸愛護入賞作品集（写真集）の作成

平成29年度に実施した第32回海岸愛護写真コンクール入賞作品集を平成30年3月に作成し、当協会会員、関係団体及び国の機関等に広く配布し、海岸愛護思想の普及・啓発に努めた。

(4) 海岸愛護写真展示パネルの作成

平成29年度に実施した第32回海岸愛護写真コンクールの入賞作品の展示パネルを平成30年3月に作成した。

なお、作成したパネルは、当協会の主催の行事や平成30年7月の海岸愛護月間中における国土交通省ロビー、なぎさシンポジウム会場等に展示し、海岸愛護思想の普及啓発に寄与することとしている。

(5) 海岸愛護用品の頒布

海岸愛護思想の普及啓発を目的として、7月の海岸愛護月間を中心に、全国各地で行われる海岸清掃等のイベントの参加者に配布する海岸愛護マーク及びロゴ（美しく、安全で、いきいきした海岸を目指して）入り用品（ポリ袋、うちわ、タオル、軍手等）を作成し、地方公共団体等に頒布した。

3. 海岸に関するセミナー・シンポジウムの開催

(1) 海岸セミナーの開催

海岸行政を担当する中堅職員（都道府県、市町村、国の機関、コンサルタント、建設業等）を対象に、海岸行政の最近の動向、海岸保全技術、海岸管理等の諸課題をテーマで構成する第1回海岸セミナーを6月23日（金）東京都港区虎ノ門日本消防会館で開催した。

(2) 海岸シンポジウムの開催

全国海岸事業促進連合協議会（当協会など海岸関係4団体で構成、会長：高知工科大学学長 磯部雅彦）では、よりよい海岸空間の保全と創造に向けて、民間団体や学識経験者を含むさまざまな分野の方々のご意見を拝聴し、時代の

要請に適合した海岸の整備や保全の一助とすべく、平成9年以降「海岸シンポジウム」を開催してきた。平成29年度も農林水産省及び国土交通省の後援をいただき、第21回海岸シンポジウムを11月30日（木）東京都港区虎ノ門発明会館地下ホールにおいて、全国から約260名の参加（国の機関、地方公共団体、民間団体、教育学術研究機関及び学識経験者等）を得て開催した。今回のシンポジウムでは、伊勢湾台風等による過去の高潮被害や海外での高潮の被災事例を踏まえ、高潮からの避難や対策の重要性を理解し、今後の防災・減災対策について専門家の方を招き基調講演、特別講演、一般講演を行った。

4. 海岸功労者表彰事業

定時総会終了後、海岸愛護活動に顕著な功績のあった2個人、8団体を表彰した。表彰状の授与後、野積ハマボウフウ育成会様（団体）、及びビーチフェスタ in かんばら実行委員会様（団体）2団体から活動状況の報告が行われた。

5. 海岸事業に関する行事等への協賛等の支援

- (1) 水防月間（5月、北海道は6月）に協賛した。
- (2) 海岸愛護月間（7月）に協賛した。
- (3) 河川愛護月間（7月）に協賛した。
- (4) 海の月間（7月）に協力した。
- (5) 全国なぎさシンポジウム in 福岡（10月）に協賛した。
- (6) 濱口梧陵国際賞（11月）に協力した。

II 海岸情報提供事業

海岸に関する図書の販売

海岸関係法令例規集2015年版（平成28年1月発行）、緩傾斜堤の設計の手引き（改訂版）（平成18年1月発行）、海岸保全施設の技術上の基準・同解説（平成16年6月発行）等を販売した。なお、海岸保全施設の技術上の基準・同解説（平成16年6月発行）は、平成29年11月完売した。